

綾瀬川清流ルネッサンスⅡ 平成 23 年度版 年次報告書



蓮田市：上平野地区



足立区：内匠橋下流左岸



平成 23 年 11 月

綾瀬川清流ルネッサンスⅡ地域協議会



昭和61年に設立した綾瀬川河川懇談会を前身に、平成6年11月に綾瀬川清流ルネッサンス21地域協議会を設立し、更なる水環境の改善を目指して、平成14年に綾瀬川清流ルネッサンスII地域協議会を設立しました。黒く汚濁し、悪臭により近づくことが不快だった綾瀬川を根本的かつ恒久的に改善するため、流域自治体や河川管理者、住民の方々が一体となって、四半世紀の間、努力してきました。

その結果、綾瀬川では、平成19年に国の管理区間内で環境基準である5mg/l（BOD75%）を下回り、それ以来、環境基準を満たす水質を継続して達成しています。綾瀬川流域の水質や水環境は大きく改善され、流域一体となって行ってきた努力が報われてきたと感じています。

本報告書は、水環境を改善するための施策の進捗状況と水環境改善目標の達成状況についての評価や、ボランティアの方々が行った綾瀬川の水質や川の様子についての調査結果等も掲載しています。

皆様方が取り組んでおられる綾瀬川清流化運動の参考にしていただければ幸いです。

綾瀬川清流ルネッサンスIIは、概ね目標を達した事から、終了になります。

今後は、改善した現在の水質や水環境を維持し、増進していく事が肝要です。

そして、いつの日か、綾瀬川に、清流が戻ってくる事を祈念します。

平成23年11月

綾瀬川清流ルネッサンスII地域協議会会長

藤田賢二



平成23年度綾瀬川清流ルネッサンスⅡの年次報告書が作成されるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

蓮田市は、綾瀬川をはじめ、元荒川や黒浜沼、山ノ神沼など多くの水辺空間と広大な田園や樹林など豊かな自然に恵まれているまちです。

その中でも綾瀬川は、当市の西端の田園地帯を南北に流れ、かつては当時の村の名前になるほど親しまれていた川でありました。しかし、昭和40年頃からの高度経済成長期に生活雑排水や工場廃水により水質が急激に悪化し、一級河川水質ランキングで15年連続ワースト1位という汚れた川になってしまいました。

しかし、「綾瀬川清流ルネッサンス21」から「綾瀬川清流ルネッサンスⅡ」へと続く関係者の皆様のご尽力のおかげで、近年、綾瀬川の水質は確実に改善されてきています。

平成21年に当市で行いました「魚類の自然環境保全基礎調査」では、メダカやコイなどの他に、アユの確認が報告されており、着実に昔の姿を取り戻しつつあります。

これもひとえに、関係者皆様方の熱意とお力添えの賜物であると心より感謝申し上げます。

この度、「綾瀬川清流ルネッサンスⅡ」も節目を迎えることとなりますが、今後も綾瀬川流域にお住まいの皆様と共に水辺の環境改善に努力してまいりたいと考えております。

結びに、綾瀬川の浄化活動に取り組まれて来られた関係皆様方のご尽力に深く敬意を表すとともに、今後も綾瀬川の更なる水質の向上が図られますよう心より願っています。

平成23年11月

蓮田市長

中野和信



四方を河川に囲まれている足立区にとって、生活に潤いを与えてくれる水辺環境は、大きな財産です。

かつての足立区は、農業用水路が縦横に走り、現在よりもさらに水と緑の豊かな街でした。時が過ぎ、農業用水路は機能を終えましたが、一部は親水水路として現在でも街づくりに貢献しています。また、河川についても、整備された河川敷やスーパー堤防などは、区民の憩いの場として親しまれています。

しかし、綾瀬川は高度成長期以降、不名誉にも「水質ワースト 1」で全国的に有名となり、環境面での「負の財産」となっていたのが現状であり、高い直立護岸や沿道が高速道路の高架下になる景観のため、目に触れる機会も少なくなり、区民の意識からも遠のいていたのが実態です。

このため足立区では、昭和 51 年度から近隣 5 市区と「綾瀬川浄化対策協議会」を設立し、水質や生物の調査、情報交換、研修会などを重ねてきました。さらに水源のある上流部の市町村も参加した「清流ルネッサンス事業」は、支川も含めた流域全体の面的取組で着実に効果を上げてきたと考えています。例えば、「綾瀬川浄化対策協議会」が毎年実施している魚類調査の結果では、「綾瀬川清流ルネッサンス 2 1」策定以前の平成 7 年当時、魚の種類が概ね一桁台であったのに比べ、その後は、徐々に種類が増え、平成 17 年度以降は 20 種以上が確認されるようになっていきます。

一方、水質が改善されるにつれ、確かに魚影は戻ってきたものの、ゴミの浮遊や透明感が少ないことなど、目や肌で感じるきれいさにはまだ隔たりがあるのも事実です。また、河川改修の結果、逆に魚のすみにくい環境になっていってしまう心配もあります。そして何よりも重要なのは、きれいになっていく綾瀬川の現状を、沿川住民の皆様を知ってもらい、親しみを感じていただくことだと思います。そのため、清流回帰の取組みとともに、区民が親しみを感じ気軽に綾瀬川にふれあえる機会創出に力を入れてまいります。

今後も区民や関係者の皆様方と綾瀬川の環境改善に努めるとともに、生きものの豊かな、美しい綾瀬川が、一日も早く復活することを心から願っております。

平成 23 年 1 1 月

足立区長

近藤 やぶ

目次

1. 綾瀬川流域の概要	1
1.1 流域の変遷	1
1.2 流域の概要	5
2. 清流ルネッサンスⅡ行動計画の概要	12
2.1 計画の背景と目的	12
2.2 水環境改善目標	15
2.2.1 テーマ・基本方針	15
2.2.2 水環境改善目標	17
2.3 目標を達成させるための施策内容	24
3. 施策の進捗状況	25
3.1 流域内対策	25
3.1.1 生活系負荷削減対策	25
3.1.2 事業系負荷削減対策	38
3.1.3 健全な水循環対策	41
3.2 河川内対策	42
3.2.1 浄化施設	42
3.2.2 浚渫事業	48
3.2.3 透視度改善施策	49
3.2.4 下水処理水の活用	50
3.2.5 浄化用水の導入	51
3.3 河川環境等の維持・保全対策	55
3.3.1 多自然川づくりの推進	55
3.3.2 ビオトープの整備	56
3.3.3 自然再生事業の推進	60
3.4 水辺空間の整備	61
3.4.1 地域と一体となった川づくりの推進（都市再生）	61
3.4.2 河岸再生	62
3.5 住民参画による水環境改善の取り組み	69
3.5.1 水環境意識の向上	69
3.5.2 住民との協働・参画の促進	90
3.6 施策の進捗状況まとめ	97

4.	水環境改善目標の達成状況評価	98
4.1	水質目標の達成状況	98
4.1.1	BOD	98
4.1.2	DO	111
4.1.3	透視度	122
4.1.4	水質目標の達成状況まとめと考察	139
4.2	流量目標の達成状況	158
4.3	水環境目標の達成状況	159
4.4	負荷削減目標の達成状況	191
4.5	その他の水環境改善について	193
5.	調査研究課題について	197
6.	水環境改善の維持のための今後の取り組みについて	200